

第16期「ピアニストのための アンサンブル講座」受講生決定！

第16期を迎えた「ピアニストのためのアンサンブル講座」。今期の受講生5名が決定しました。
8/18(水)～2/23(水・祝)の修了記念コンサートまで、5名の講師の指導のもと、全10回の講座を行います。

受講生



石川愛

©井村重人



大久保理紗



次藤智史



武田実里



橋本由羽

聴講生随時募集中！22歳以下の方は無料です。
ぜひご来場ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては非公開とする場合もあります。

日程／

2021①8/18(水)、②19(木)、③9/7(火)、④8(水)、⑤11/10(水)、
⑥11(木)、⑦12/8(水)、⑧9(木)、2022⑨2/22(火)、⑩23(水・祝)

内容／

＜奇数回＞13:30～19:30 実技レッスン

＜偶数回＞10:00～19:30 アナリーゼ

講義～奏者の視点から～②④⑧

ピアノをめぐる音響を考える⑥

実技レッスン

①②は声楽＆チェロ、③④はヴァイオリン、⑤⑥は声楽＆ヴァイオリン、

⑦⑧はチェロ、⑨はすべて、⑩は修了記念コンサートを開催予定。

会 場／静岡音楽館AOIホール(8階)、及び講堂(7階)

講 師／野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)

寺谷千枝子(メソソプラノ)

漆原啓子(ヴァイオリニスト)

向山佳絵子(チェリスト)

倉田尚彦(株式会社松尾楽器商会 調律師)*⑤⑧講義講師

聴講料／一般：¥1,000

22歳以下：無料

※静岡音楽館倶楽部会員は無料です

(ただしレッスンのみ。アナリーゼ、講義は有料)。

聴講生随時募集中！

新型コロナウイルス感染症対策について 静岡音楽館AOIからのお願い

静岡音楽館AOIでは新型コロナウイルス感染症について静岡市等関係機関からの最新の情報の収集に努めるとともに、感染予防・拡大防止に細心の注意を払い対策を講じてまいります。お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご来館に際しまして、お客様へ次のとおりお願い申し上げます。

以下の事項に該当する方は、来館の自粛をお願いいたします。

- ・37.5℃以上の発熱または平熱比1度を超過されている方。
- ・呼吸困難や強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方。
- ・同居ご家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。

マスクの着用にご協力ください。(マスクを着用でない方は入館をご遠慮いただく場合がございます。)

社会的距離の確保(最低1mを目安)をお願いいたします。

こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。

マスク、ハンカチ、ティッシュ、上着の内側や袖などで口をしっかりと覆う「咳エチケット」にご協力ください。

【静岡音楽館AOIの取組】

消毒液をロビー等に設置しています。

館内は消毒液を使用した清掃を行うとともに、換気につとめています。

主催公演では、8月まで50%の客席で実施いたします。お客様には1席ずつ間をあけてお座りいただくこととなります。ご協力をお願いいたします。

ご寄附のお願い

静岡市文化振興財団が目指す魅力ある静岡文化の創造について、ご関心のある市民の皆さま、法人・団体の皆さまからの寄附金の受付を行っております。

静岡市のさらなる文化振興の発展のため、有益な事業を展開するための運営費となります。当財団に寄附をしていただいた方は、税制上の優遇措置を受けられます。

寄附をお考えの方、寄附制度について詳しくお知りになりたい方は、ホームページをご覧ください。下記までお電話でお問合せください。

お問合せ
静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation
〒420-0857 静岡市葵区御幸町4番地の1 アーバンネット静岡ビル4階
TEL.054-255-4746 FAX.054-653-3501
HP：https://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/
e-mail：office@scpf.shizuoka-city.or.jp

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2021年度をもって退会をご希望のかたは、2022年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2021年5月末現在)50名

- (株)アオイテレック
- (株)タミヤ
- (株)SBSプロモーション
- (株)メディア・ミックス静岡
- (株)ジェリアル東海ホテルズ
- ホテルアソシア静岡

コンサートシリーズ2021-22

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協 賛 アイワグループ



次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。



要事前予約(2週間前まで)・託児料：1人1,000円

対象：生後6ヶ月～小学生

申込：静岡音楽館AOI

TEL.054-251-2200(月休)

申込時に、保護者氏名、お子様の氏名、

年齢、性別をお伝えください。



月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)9:00～21:30開館

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お 問 合 せ

054-251-2200

AOI

検索

インタビュー 松原勝也

ヴァイオリン



11月13日(土)AOI・レジデンス・クワルテット公演をひかえ、ヴァイオリンの松原勝也さんにお話をうかがいました。

このクワルテットが結成されて四半世紀が経ち、延べ80曲あまりの作品を静岡の聴衆にご紹介いただきました。その中でも松原さんが特に印象に残っている演奏会(作品)を挙げるとしたら、どの演奏会(作品)になりますでしょうか？

特筆してこのコンサートが、というよりは、クワルテットのメンバー4人が年に1度集まり演奏するというということ自体に大変な魅力を感じています。1年経っても、最初の音を出したときに言葉では説明できない阿吽の呼吸のような感覚があります。全く違う4人のキャラクターが化学反応を起こして、毎回新しいものを生み出すことに魅力を感じています。ちょうど今、野平一郎氏作曲の弦楽四重奏曲2曲を練習しているのですが、2015年に初演したそのうちの1曲である第5番の演奏は、印象的な体験だったと思います。AOIでの演奏で生まれる音楽は、何か他とは違うものがあると感じています。われわれ「演奏者」と聴き手である「お客様」、そして演奏の場としての「AOIのホール」の3者が、クリエイティブな音楽を生み出そうというエネルギーを持っているのではないかということが、ここ最近特に強く感じていることです。だから今までの思い出というよりは、この進行形で感じているこのことが、私にとって今一番強く思っていることです。

昨年はベートーヴェン生誕250年及びAOI・レジデンス・クワルテット結成25周年という記念の年でしたが、その年にベートーヴェン後期の傑作、弦楽四重奏曲第12番、13番《大フーガ付》、15番を1日で演奏し、多くの称賛をいただきました。音楽的にも体力的に

も大変な演奏会だったと思いますが、この演奏会を終えてどのような感想を持たれていますか？

この3曲を1日でやるということ自体あまり例がないことで、まず作品を取り組むということだけでも目一杯で、喜びも含めて本当に大変でした。正味2時間半の間に10年分ぐらいの長い旅をやり終えたような感覚があり、とても大きなものを得たように思います。もちろん当日はエキサイティングでしたし、聴いているお客様の力も借りて充実した演奏ができたと思いますが、演奏が終わった直後は「あー良かったな！」という感覚ではなく、じわじわと自分の中で蓄積され、10年後にそれが大きな土壌となって残っていくのだろうなという感覚に捉われました。それでも演奏会のあとは一週間ぐらいボーっとしてましたし、そのぐらい消耗した演奏会であり、それに見合ったものもいただいたと思います。

本年11月の演奏会の聴き所をご紹介ください。

バッハのイギリス組曲第6番は、オリジナルがチェンバロ



© 日置真光

2015.11.15



2020.11.14

AOI・レジデンス・クワルテット
AOI Residence Quartet

1995年、静岡音楽館AOIの開館とともに、その専属弦楽四重奏団として松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、白尾信子(ヴィオラ)、安田謙一郎(チェロ)、いずれも日本を代表する弦楽器奏者たちにより結成された。98年にチェロが河野文昭に交替、2001年、ヴィオラは川本嘉子が後を継いだ。W.A.モーツァルトとシューベルトをたびたび採りあげ、また2000年には三輪眞弘「弦楽四重奏曲《皇帝》」長調、2015年には野平一郎「弦楽四重奏曲第5番(いずれも静岡音楽館AOI委嘱作品)」を世界初演するなど、古典から現代までは幅広い作品で優れた演奏を提供しつづけ、とくに2004年のバビローク「弦楽四重奏曲第1、3、6番」の圧倒的な熱演は歴史的な名演といえる。2011～20年、継続してベートーヴェンに取り組む。これまでにP.ロジェ、野平一郎、横山幸雄、田部京子(ピアノ)、佐久間由美子(フルート)、P.メイエ(クラリネット)、福田進一(ギター)の各氏ほかと共演、弦楽四重奏曲を中心に多彩なプログラムで聴衆の耳を愉ませてきた。2010年には菊川文化会館アエル、伊豆市生きいきプラザ、御前崎市民会館、グランシップなど静岡県各地で演奏。2015年11月には上野学園石橋メモリアルホールで初の東京公演を開催し成功を収めた。今後の活動がますます期待されている。2013年、静岡県文化財団第26回地域文化活動特別賞、2015年、平成26年度静岡県文化奨励賞を受賞。

メンバー：平成7～9年 松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、
白尾信子(ヴィオラ)、安田謙一郎(チェロ)
平成10～11年 松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、
白尾信子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)
平成12年 松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、
河野文昭、安田謙一郎(チェロ)
平成13年から 松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、
川本嘉子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)

のための曲です。チェンバロの曲をアレンジするのは私にとってとても楽しい作業で、《ゴルトベルク変奏曲》や《プレリュードとフーガ》など、今までにバッハの作品を15曲以上弦楽アンサンブルなどのために編曲しています。その作業で思ったのは、鍵盤楽器で弾くオリジナルの素晴らしさやそこで見える景色と、弦楽アンサンブルのためにアレンジしたときの曲の景色がまるで違うということです。バッハの音楽の奥行というのはそういうところにあると思っています。今回のイギリス組曲も全曲を見たうえで第6番が一番新たなバッハの世界を見せてくれるのではないかと考え、演奏を決めました。併せてモーツァルトとシューベルトの弦楽四重奏曲を取り上げます。

最後に、静岡の聴衆にメッセージをお願いいたします。

静岡でのコンサートは、私自身の音楽家としての一部であり、連続している私の人生の大事なポイントであり、音楽家としての人生をたどる一つの道標だと思っています。年に一度の静岡でのコンサートで、皆様にまたお会いできることを楽しみにしています。

2021年3月16日
聴き手：竹内啓(静岡音楽館AOI)

AOI・レジデンス・クワルテット
11/13(土) 18:00 開演(17:15 開場)

22歳以下
¥1,000

全指定 ¥3,500(静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)
[Pコード:187-152]

出演
AOI・レジデンス・クワルテット
松原勝也(ヴァイオリン)
小林美恵(ヴァイオリン)
川本嘉子(ヴィオラ)
河野文昭(チェロ)

曲目
J.S.バッハ：イギリス組曲第6番 二短調 BWV811(松原勝也 編)
W.A.モーツァルト：弦楽四重奏曲第18番 イ長調 K.464
F.シューベルト：弦楽四重奏曲第15番 ト長調 op.161 D.887

講演会 弦楽四重奏の愉しみ方

11/13(土)16:00～17:30
講師：平野昭(音楽評論家) 静岡音楽館AOI 講堂(7階) 無料(要申込)

講演会 “この1曲”をとことん語る

9/24(金)19:00～20:30
W.A.モーツァルト：弦楽四重奏曲第18番 イ長調 K.464
講師：小林旬(静岡音楽館AOI 学芸員)

10/7(木)19:00～20:30
F.シューベルト：弦楽四重奏曲第15番 ト長調 op.161, D.887
講師：竹内啓(静岡音楽館AOI 学芸員)

10/15(金)19:00～20:30
J.S.バッハ：イギリス組曲 BWV806～811 より
講師：関本淑乃(静岡音楽館AOI 学芸員)
会場 いずれも静岡音楽館AOI 講堂(7階) 無料(要申込)



© S.Ohsugi

インタビュー

上野 耕平

(サクソフォン)

9月にランチタイム・コンサートでご出演いただくサクソフォン奏者の上野耕平さんにお話をうかがいました。

サクソフォンとの出会いを教えてください。また、数ある楽器の中でサクソフォンを選ばれた理由は何ですか。

小学校2年生のときに学校の吹奏楽部に入ったのがきっかけです。サクソフォンは第2希望でしたが、顧問の先生の一声でアルトサクソフォン担当になりました。

どんなところにサクソフォンの魅力を感じますか。また、サクソフォン奏者になろうと決意したきっかけは何だったのでしょうか。

サクソフォンの魅力はこれ一本で喜怒哀楽全てが表現できる、まさに人間そのもののような楽器ということですね！

そしてサクソフォン奏者になろうと思ったのは、サクソフォンを通じてクラシック音楽にどんどん魅せられ、この楽器でこの音楽をしたい!と思ったのがいちばんでした。

サクソフォンは比較的新しい楽器です。編曲された作品も多いですが、編曲作品の面白さ、演奏する際に心がけていることがありますら教えてください。

編曲作品を演奏するときは、原曲の楽器を真似ないこと。作曲家が記した音符と正面から向き合い、それをサクソフォンで表現する。これがいちばん大切です。オリジナルも編曲作品も同じで、特に変えるところはありません！

今回のプログラムについて、聴きどころを教えてください。

前半2曲はソプラノ、後半はアルトという2本のサクソフォンの音色、キャラクターをお楽しみいただけます。また、同じサクソフォンでも、作品の年代や色合いによって、その表情が変わる面白さもお楽しみいただけます！

共演者の山中さんをご紹介します。

山中さんは藝大の2つ上の先輩です。在学中から、その素晴らしい才能でみんなの憧れの的でした！2016年頃からずっと共演を重ね、同じ曲を演奏しても日々変化していくアンサンブルがとてもエキサイティングで楽しいのです！

上野さんは鉄道ファンとしても有名ですね。音楽番組以外に鉄道番組へのご出演でもTVでお見かけします。鉄道ファンになったきっかけがありましたら教えてください。

小学1年の終わりまで住んだところの目の前が常磐線の線路で、物心ついたときには鉄道ファンでした。この職業について嬉しいのは移動が多いこと！飛行機のチケットをわざわざ寝台列車に変更して乗ったりなど、いろいろ楽しんでおります…笑

静岡県にも何度もいらして下さっていますが、静岡のローカル線には乗られましたでしょうか。

実はまだあまり静岡のローカル線は乗れていないのです…。御殿場線は全線乗りました！静鉄はかなり気になる存在です。営業キロは決して長くは無いのですが、近年新車も導入されて魅力溢れてます！地方私鉄は大手私鉄の中古車両を譲渡されるのが多いのですが、静鉄は完全オリジナルの新車を入れているところもすごいところ！逆に大手私鉄のかつての名車が走る、大井川鐵道も乗りたいです。

2020年春から、MCを務めていらっしゃるNHK-FMの「×(かける)クラシック」(毎週日曜日14:00、再放送 月曜日07:25)がレギュラー放送されるようになりましたね。収録にあたって緊張されていましたか。

特に緊張はしていません！笑

MCの相方、市川紗椰さんの考えやコメントの面白さを毎週案

んでいます。そしてなんととってもゲストの方がいらした時に聞けるお話がまた、自分の人生を成長させてくれる、大事な機会なのです！

毎月テーマが変わりますが、テーマはどのようにして決まるのでしょうか。

テーマはスタッフの方と相談する時もありますし、決まっている時もあります。

この番組は、リスナーの皆さんからのメッセージが濃くアツいので、毎週それも楽しみに収録へ行っています！

このコロナ禍で日常生活も変わられたことと思います。演奏会が延期になったり、中止になったり、いろいろご苦勞もあったのではないのでしょうか。印象に残ることがありましたら教えてください。

演奏会が中止になったりした影響で、配信のコンサートも増えましたが、やはり生演奏、その場の空気をお客様と共有することの素晴らしさを実感しました。生演奏に代わるものはありません！！

今後の活動について、力を入れていきたいことなどを教えてください。

ずばり、海外進出です！！

コンサートに向けて、お客様へメッセージをお願いします。

素晴らしい響きのAOIで演奏できる機会がやってきました！とっても嬉しいです！楽しみます！

サクソフォンを初めて聴く方、なんならコンサートというものに親しみのない方でも、この世界の魅力に引きずり込める、いや引きずり込むつもりで用意しておりますので、是非ホールへ体感しにお越しください！



山中惇史(ピアノ)

ランチタイム・コンサート 上野耕平 (サクソフォン) ライブ&トーク

9/4 土

22歳以下
¥1,000

11:30 開演(10:45 開場) ※12:30 終演予定
全指定 ¥1,800 (静岡音楽館倶楽部会員¥1,620)
[Pコード:188-386]

曲 目
J.S.バッハ：G線上のアリア (BWV1068)
A.ピアソラ：《タンゴの歴史》より
〈ボーデル1900〉
〈カフェ1930〉
〈ナイトクラブ1960〉

T.デュボワ：ディヴェルティスマン
D.ミヨー：スカラムーシュ op.165b

2011年度より開催している
アマチュア・アンサンブルの日♪は
今回で11回目となります。
このたび、参加団体24組が決定しました。
皆さまのご来場をお待ちしています。

第11回 **アマチュア・アンサンブルの日♪**
11/3 (水・祝) 12:00 開演 (11:30 開場) ※18:20 終演予定
無料 (申込不要)

出演

第1部 12:00 開演

バロック415 (フラウト・トラヴェルソ、リコーダー、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ)
アラウンドフィフティーズ (歌、ヴァイオリン、ピアノ)
Tomy Quartet (リコーダー、チェロ、ピアノ)
ベル・ア・コーダ (イングリッシュ・ハンドベル、ピアノ)
Le Duc (ル・デューク) (ヴァイオリン、ピアノ)
Maeda Duo (チェロ、ピアノ)
kimie & maco (フルート、ピアノ)
P & C (トランペット、ピアノ)
奈都トリオ (ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)
Trio di Sensei-tion (トリオ・ディ・センセイ=ション) (クラリネット、チェロ、ピアノ)
Trio Pont de Cerisier (トリオ・ボン・デ・セリジェ) (サクソフォン、フルート、ピアノ)

第2部 15:00 開演 (予定)

ムジカブリューメ (弦楽合奏)
雅楽愛好者衆「千里」
民謡日吉会
Le son de bois (ル・ソン・デ・ボワ) (フルート、ファゴット)
DeCies (でしーず) (チェロ四重奏)
アンサンブル・ヴァン・ルージュ (フルート、弦楽四重奏)
STRINGS (ストリングス) (弦楽合奏)
リコーダーアンサンブル「つくつくほうし」
アンサンブル「とろ」(トロンボーン四重奏)
Brass Ensemble La Mer (金管五重奏)
BRASS PATINA (ブラス・パティナ) (金管八重奏)
ファアーニイズ (弦楽合奏)
MYROS (マイロス) (リコーダー・アンサンブル)

第10回アマチュア・アンサンブルの日♪ (2020.11.23)
撮影:日置真光



Trio Pont de Cerisier



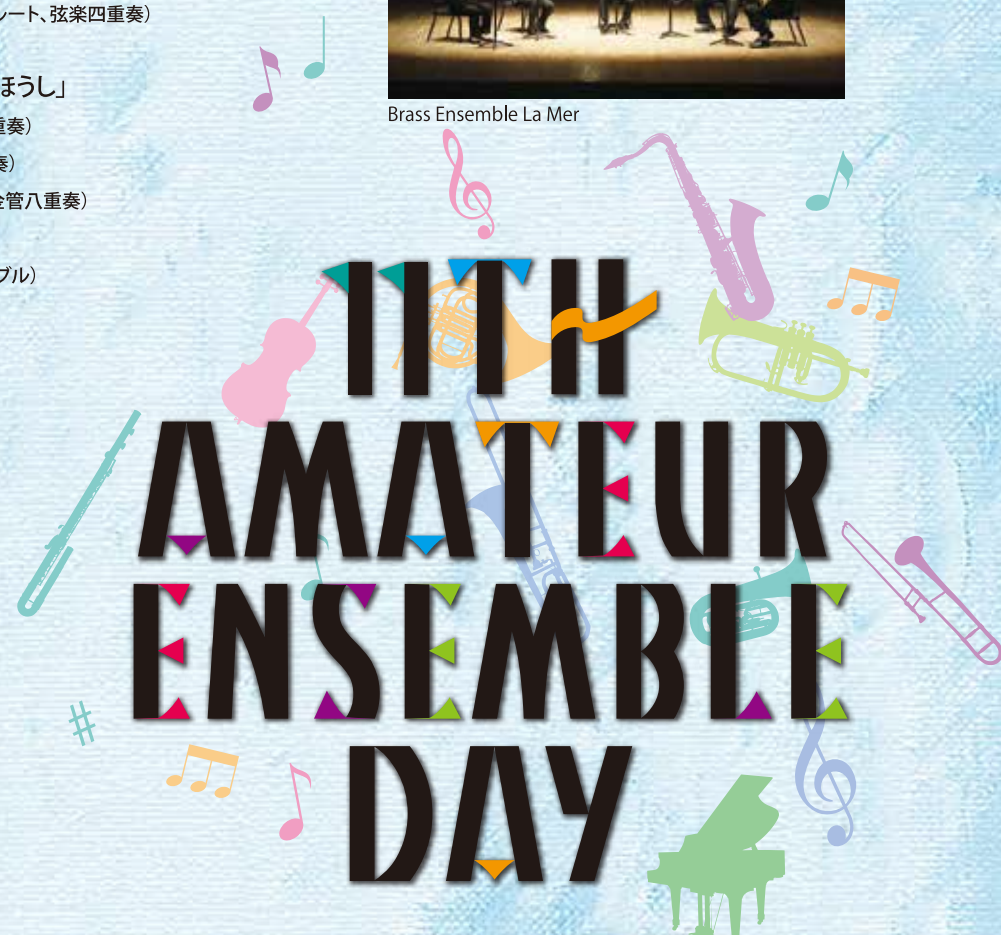
Decies



アンサンブル「とろ」



Brass Ensemble La Mer



第25回「静岡の名手たち」 オーディション合格者決定!

5/3 (月・祝) 打楽器部門、声楽部門、邦楽部門

5/4 (火・祝) 鍵盤楽器部門、アンサンブル部門

5/5 (水・祝) 弦楽器部門、管楽器部門

去る5月3、4、5日の3日間にかけて第25回「静岡の名手たち」オーディションが行われ、審査の結果、8名が合格しました。合格者のみなさんは9/11 (土) 第25回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサートに出演します。
あなたも新しい才能が羽ばたく舞台をぜひ!

[声楽部門].....

加藤静帆 (ソプラノ)
殿岡かなみ (メゾソプラノ) *コンチェルト賞

[鍵盤楽器部門].....

都竹華代 (ピアノ)
室井悠李 (ピアノ) *ロダン賞
柏原亜耶 (ピアノ)

[管楽器部門].....

桐畑奈央 (リコーダー)
竹内朗 (アルト・サクソフォン)
森下愛梨 (バス・トロンボーン)

※各部門五十音順

※弦楽器部門、打楽器部門、邦楽部門、アンサンブル部門の合格者はありません。



室井悠李 (ピアノ)

F.ショパン：ショパン夜想曲第17番
ロ長調 op.62-1

徳山美奈子：ムジカ・ナラ op.25



桐畑奈央 (リコーダー)

戸崎廣乃 (チェンバロ)

A.コレツリ：ソナタ第4番 ヘ長調 op.5-4



柏原亜耶 (ピアノ)

L.v.ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第27番 ホ短調 op.90



森下愛梨 (バス・トロンボーン)

久米涼子 (ピアノ)

E.ボザ：ニューオリンズ



都竹華代 (ピアノ)

オンディーヌ
M.ラヴェル：《夜のガスパール》より《水の精》
C.サン＝サーンス：ワルツ形式の練習曲 変ニ長調 op.52-6



竹内朗 (アルト・サクソフォン)

田村睦実 (ピアノ)

長生淳：天国の月



殿岡かなみ (メゾソプラノ)

森真実 (ピアノ)

V.ベッリーニ：歌劇《カプレーティ家とモンテツキ家》より
〈ロメオがご子息を死にいらしめたのなら〉

G.プッチーニ：《大地と海》

G.ドニゼッティ：歌劇《ラ・ファヴォリータ》より《私のフェルナンド》



加藤静帆 (ソプラノ)

恩田結衣 (ピアノ)

C.M.v.ウェーバー：歌劇《魔弾の射手》op.77 より《雲が覆っていても》
W.A.モーツァルト：レチタティーヴォ《わが美しき恋人よ、さようなら》と
アリア《とどまって、いとしき人よ》K.528

